

地区補助金事業報告

認知症を支える会光にiPad5台を贈る事業

◆プロジェクトの概要について◆

山口県の高齢化は急速に進む中、光市の高齢化も年々進んでいることを市の広報で知り、光RC内では数年前から専門者を招いて、数回の認知症についての講演会・勉強会を開催していた。この度、光市認知症を支える会の活動を知り、支援活動を実施することを決定した。この会では、定期的に例会を開き、認知症患者へのサポートやその家族へのサポートを行なっている。実際、当クラブ会員がその会の例会に参加したり、担当者との数回にわたる会合を開き、話を聞いて、近隣の市に比べ最新の認知症サポートが出来ていない状態であることがわかった。最新の認知症サポートにはiPadアプリを使って認知症患者が直接手に触れることで、認知症の進行を遅らす事や症状を改善する手助けになることがわかった。その為にiPad Air5台を寄贈する事とし、併せて、お互いの例会に参加し合い、認知症への理解を深めていくことにした。

◆プロジェクト実施について◆

2014年8月25日(月)ホテル松原屋に於いて、認知症を支える会光(福寿草の会)に関係者を招き、iPad5台を寄贈した。あわせて、会員全員・関係者対象に基調講演開催を開催し、認知症への理解を深めた。

講師:医療法人陽光会 光中央病院
理事長 丸岩 昌文氏
演題:「地域で支える認知症」



認知症患者への指導風景

基調講演



瀬戸内タイムス 掲載記事



日刊 新南 掲載記事



山口新聞 掲載記事